

週間漁海況情報—第22号

平成24年6月4日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.green.pref.tokushima.jp/suisan/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

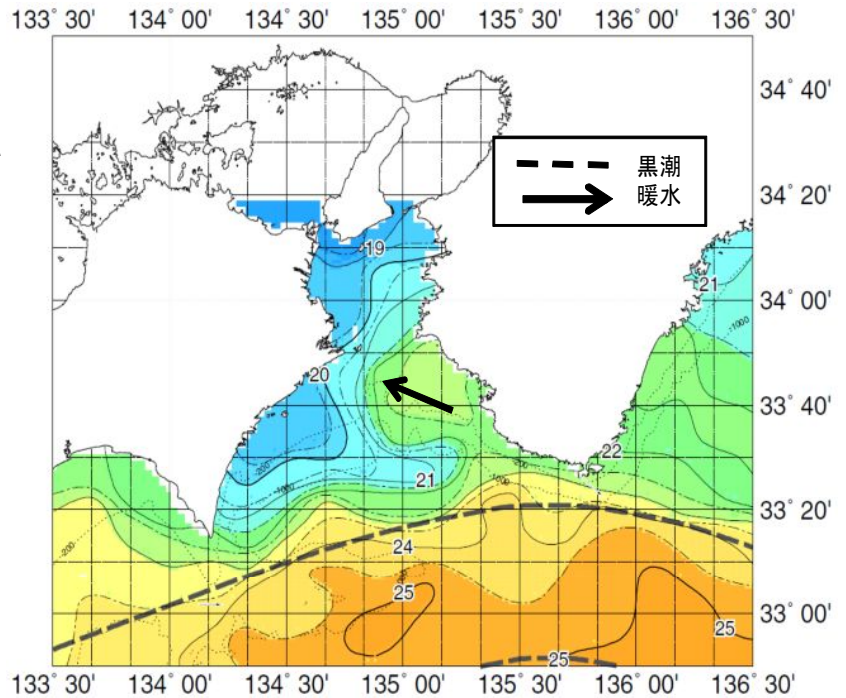
1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.6.4）を示した。

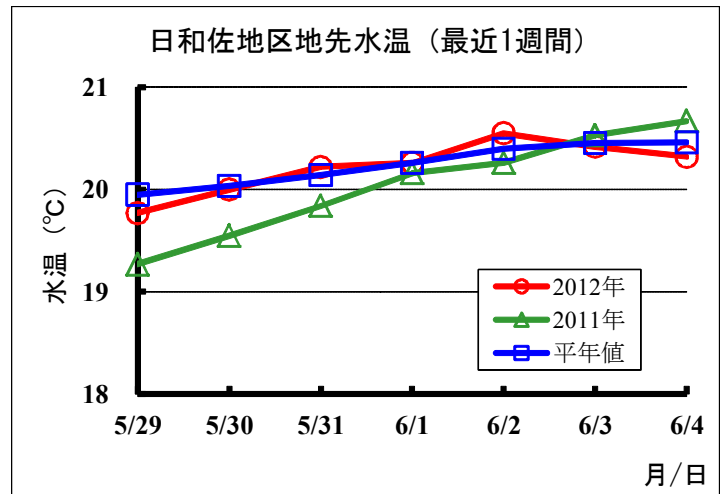
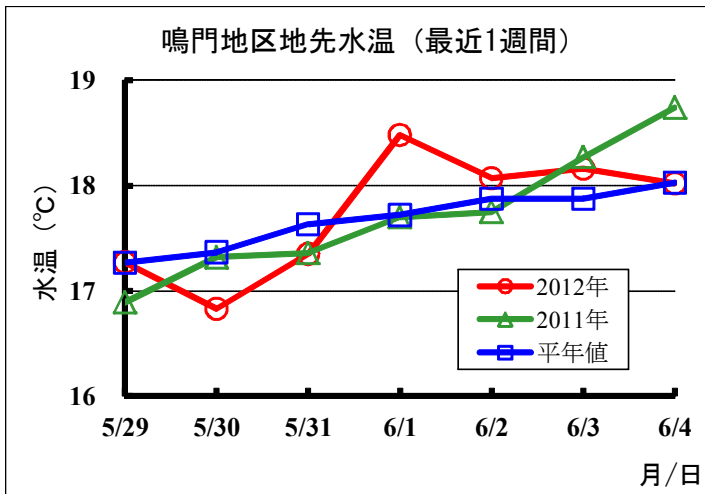
黒潮は、室戸岬沖～潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、23～25℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で18℃台、紀伊水道で18～21℃台、海部沿岸で19～21℃台である。

紀伊水道外域では、和歌山県側から緩やかな暖水流入がある。海部沿岸では、20℃以下の内海系水の影響を受けている。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「やや高め」の16.8～18.5℃、日和佐地区は「平年並み」の19.8～20.6℃、牟岐地区は「やや低め」～「平年並み」の19.6～21.2℃で推移した。



週間予報：黒潮は、室戸岬沖～潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の18℃台、日和佐地先で「平年並み」の20～21℃台で推移する見込み。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、小主体にカサゴが0.2トン（1日1隻当たり17kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、ウルメイワシが3.8トン（同60kg）、マイワシが3.6トン（同76g）、カタクチイワシが0.6トン（同21kg）、キビナゴが0.6トン（同48kg）、マメ主体にマアジが3.2トン（同38kg）、小小主体にサバ類が0.5トン（同12kg）、マルソウダが0.4トン（同15kg）、トビウオ類が0.3トン（同6kg）、スルメイカが0.4トン（同13kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、小主体にマアジが9.0トン（同1,802kg）、小小主体にマルアジが0.5トン（同101kg）、マルソウダが118トン（同23,587kg）、ハマチが1.3トン（同268kg）、中主体にトビウオ類が0.4トン（同70kg）、クロマグロが0.3トン（同65kg）、イサキが0.3トン（同63kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、中主体にカツオが7.9トン（同989kg）、中主体にキハダが1.3トン（同166kg）、イサキが0.2トン（同5kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが7.8トン（同83kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 5月28日～6月3日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	カサゴ	15	248	17	小主体
小型定置網		ウルメイワシ	62	3,750	60	
		マイワシ	48	3,643	76	
		カタクチイワシ	28	590	21	
		キビナゴ	12	571	48	
		マアジ	84	3,211	38	マメ主体
		サバ類	39	482	12	小小主体
		マルソウダ	29	430	15	
		トビウオ類	60	343	6	
		スルメイカ	28	353	13	
大型定置網		マアジ	5	9,008	1,802	小主体
		マルアジ	5	507	101	小小主体
		マルソウダ	5	117,934	23,587	
		ハマチ	5	1,342	268	
	トビウオ類	5	351	70	中主体	
	クロマグロ	5	323	65		
	イサキ	5	314	63		
釣り	カツオ	8	7,910	989	中主体	
	キハダ	8	1,331	166	中主体	
	イサキ	46	212	5		
パッチ網	紀伊水道	シラス	93	7,750	83	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年5月30～6月5日においては、海部沿岸では、延縄でカサゴが0.3トン、小型定置網でカタクチイワシが4.1トン、小小主体にサバ類が1.3トン、シイラが0.4トン、小小主体にマアジが13.1トン、マイワシが0.6トン、釣りで、大主体にマアジが0.2トン、海部沖合で特大主体にカツオが1.2トン、中主体にキハダが0.7トン、大・小小主体にシイラが0.4トン、紀伊水道では、パッチ網でシラスが3.8トン水揚げされた。